

功 績 概 要 書

1 受賞者

住 所 寒河江市

団 体 名 日東ベスト株式会社

代表者名 代表取締役社長執行役員 嵯峨 秀夫

2 受賞理由

冷凍食品や業務用食品の製造を通じて山形県的食品産業を牽引し、地域農畜産物を活用した商品開発や品質向上に積極的に取り組んでいる。生産体制の高度化や海外展開を推進するとともに、環境負荷低減にも注力し、県内雇用の創出と地域経済の活性化に大きく貢献している。

3 具体的功績

- (1) 本県に本社を置き、県内有数の食品メーカーとして、地域経済と雇用を支えている。高い知識と技術力を有し、昭和 23 年に日本初の国産コンビーフの開発に成功。業務用冷凍食品の先駆者として食品業界の発展を牽引してきた。
- (2) 学校給食等で児童全員が同じものを食べることができるアレルギー対応商品「フレンズミール」や、病院、介護事業所で嚥む力、飲み込む力が低下した高齢者等をターゲットとした、おいしそうな見た目のままでやわらかく噛みやすい食感の軟菜食「ホスピタグルメ」等を開発・普及させ、全国において幅広い世代の食を支えている。
- (3) 令和 7 年山形県バイオクラスター形成促進事業を活用し、慶応義塾大学先端生命科学研究所（鶴岡市）と「培養肉生産用培地開発のための基礎的研究（食品由来の培地成分の探索）」の共同研究を実施するなど、高度学術機関との連携も進めている。
- (4) 日東ベスト教育振興基金においては、学生への奨学育英資金の貸与をはじめ、130 団体を超える学校・スポーツ団体への教育用品等の助成を行っている。総合文化祭の開催や、寒河江まつりへの参加等、地域貢献活動にも注力し、地域活性化に資する取組みが顕著である。
- (5) 従業員が安心して長く働き続けられるよう、働きやすい職場環境の整備に積極的に取り組んでいる。平成 20 年度に「内閣府少子化対策担当大臣表彰」を受賞、平成 23 年度には「くるみん認定」を初取得するなど、子育て支援に手厚い企業として評価されている。また、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」にも注力し、「健康経営優良法人 2026（大規模法人部門）」に認定されている。